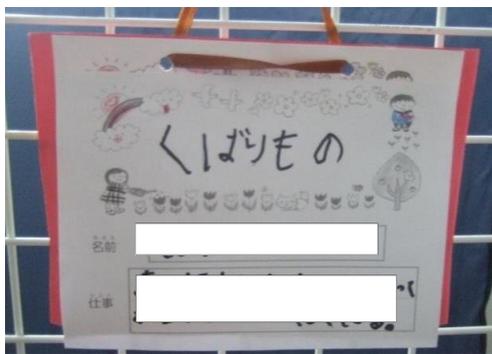




先生方が手作りした素敵な教材を紹介します！



A 小学校の特別支援学級では、子供たちが係活動を継続して行うことができるように、係カードが工夫されていました。自分の係名・氏名・仕事の内容が分かりやすく記入されたカードを裏返すと、ほめ言葉の文字が現れます。子供たちは、互いのカードを見て声をかけ合い、楽しんで活動に取り組んでいるそうです。



B 小学校の特別支援学級の算数科では、「かいものおたすけシート」が使われていました。シートに値段の数を書き込み、位取り欄のサイズに合わせたケースに模擬貨幣を入れることで、正しい金額を確かめることができます。3桁の数を学習していない子供も買い物体験をすることができます。買い物を楽しみながら数量に対する感覚を豊かにしているそうです。



どちらの教材からも、先生方の「子供がどのようなことで、どのくらい困っているかを的確に把握しよう」という温かなまなざし、そして、「みんなと一緒に活動したり学習したりしてほしい」「進んで取り組み、できる喜びを感じ取ってほしい」という思いや願いを感じます。友達と同じスタートラインに立ち、自分の力を発揮しながら学ぶことができるようになるための合理的配慮そのものなのです。